

令和 8 年

三重県議会定例会会議録

（ 5 月 19 日 ）
（ 第 10 号 ）

第
10
号
5
月
19
日

令和 8 年

三重県議会定例会会議録

第 10 号

○令和 8 年 5 月 19 日（火曜日）

紹

介

○議長（服部富男） 会議に先立ち、去る 4 月 1 日に任命されました長崎禎和教育長を御紹介いたします。

〔長崎教育長入場〕

○議長（服部富男） それでは、長崎禎和教育長、御挨拶願います。

○教育長（長崎禎和） 教育長に任命されました長崎禎和でございます。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

〔長崎教育長退場〕

議事日程（第10号）

令和 8 年 5 月 19 日（火）午前10時開議

- 第 1 常任委員選任の件
- 第 2 議会運営委員選任の件
- 第 3 四日市港管理組合議会議員選挙の件
- 第 4 議案第78号
〔採決〕
- 第 5 議員派遣の件
〔討論、採決〕

会 議 に 付 し た 事 件

日程追加 議長辞職の件

日程追加	議長選挙の件
日程追加	副議長辞職の件
日程追加	副議長選挙の件
日程第 1	常任委員選任の件
日程第 2	議会運営委員選任の件
日程追加	常任委員辞任の件
日程第 3	四日市港管理組合議会議員選挙の件
日程第 4	議案第78号
日程第 5	議員派遣の件

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 47名

1	番	市 野 修 平
2	番	曾 我 正 彦
3	番	荊 原 広 樹
4	番	伊 藤 雅 慶
5	番	世 古 明
6	番	市 川 岳 人
7	番	龍 神 啓 介
8	番	辻 内 裕 也
9	番	吉 田 紋 華
10	番	難 波 聖 子
11	番	芳 野 正 英
12	番	川 口 円
13	番	喜 田 健 児
14	番	中 瀬 信 之
16	番	中瀬古 初 美
17	番	廣 耕太郎

18	番	松	浦	慶	子
19	番	石	垣	智	矢
20	番	山	崎		博
21	番	野	村	保	夫
22	番	倉	本	崇	弘
23	番	山	内	道	明
24	番	田	中	智	也
25	番	藤	根	正	典
26	番	森	野	真	治
27	番	杉	本	熊	野
28	番	藤	田	宜	三
29	番	田	中	祐	治
30	番	野	口		正
31	番	谷	川	孝	栄
32	番	石	田	成	生
33	番	村	林		聡
34	番	小	林	正	人
35	番	東			豊
36	番	長	田	隆	尚
37	番	今	井	智	広
38	番	稻	垣	昭	義
39	番	日	沖	正	信
40	番	舟	橋	裕	幸
41	番	中	嶋	年	規
42	番	青	木	謙	順
43	番	中	森	博	文
44	番	山	本	教	和
45	番	西	場	信	行

46	番	中	川	正	美
47	番	服	部	富	男
48	番	津	田	健	児
(15	番	欠			員)

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	佐	波	斉
書記（事務局次長）	小	野	明子
書記（議事課長）	吉	川	幸伸
書記（議事課課長補佐兼班長）	岡	野	俊之
書記（議事課係長）	奥	村	克仁
書記（議事課主任）	藤	野	和輝

会議に出席した説明員の職氏名

知事	一	見	勝之
副知事	野	呂	幸利
副知事	後	田	和也
危機管理統括監	松	下	功一
総務部長	松	浦	元哉

午前10時1分開議

開 議

○議長（服部富男） ただいまから本日の会議を開きます。

諸 報 告

○議長（服部富男） 日程に入るに先立ち報告いたします。

例月出納検査報告2件が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり出席を求めました。

以上で報告を終わります。

休 憩

○議長（服部富男） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前10時2分休憩

午前10時3分開議

開 議

○副議長（森野真治） 休憩前に続き会議を開きます。

日程追加・議長の辞職

○副議長（森野真治） この際、申し上げます。

服部富男議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。服部富男議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（森野真治） 御異議なしと認めます。よって、服部富男議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔47番 服部富男議員入場・着席〕

○副議長（森野真治） 前議長 服部富男議員の御挨拶があります。

〔47番 服部富男議員登壇〕

○47番（服部富男） 議長を退任するに当たりまして一言御挨拶申し上げます。

昨年5月に第115代議長に推挙いただいて以来、森野副議長をはじめ議員の皆様、さらに、事務局長をはじめ議会事務局の皆様、そして、知事をはじめ

めとする執行部の皆様から、多大なる御支援、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

議長就任後、諸先輩方が全国に先駆け議会改革を導いてきた三重県議会の歴史と伝統を受け継ぎ、この1年間、懸命に取り組んでまいりました。

この1年間は、戦後80年、さらには、昭和100年、県政150年といった歴史的な節目を迎え、平和な社会の実現と未来への責任を強く意識するとともに、先人たちの築き上げてきた歴史の上に私たちが今を生きていることを改めて実感する機会となりました。

また、去年は、三谷哲央議員、平畑武議員が御逝去されるというつらい出来事もございました。県政にささげられたお二人の熱い志と信念を胸に、私たちは県民のために全力を尽くすことを改めて決意した次第であります。

そのような中、議会運営におきましては、県民の皆様の負託に応えるべく、真摯な議論を重ね、県政の発展に尽力した1年でありました。特に、伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会では伊勢茶に親しむ暮らし推進条例案を、そして、豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会では豊かで美しく親しみのある海づくりの推進を求める意見書案を、それぞれ全会一致で可決し、関係省庁への提出や知事への提言を行うなど、活発な議論と丁寧な調査が進められ、その成果がこのような形で結実したことは、議会の役割と責任を改めて示すことができたものと確信しております。特に、私自身、41年ぶりに三重県で開催されました全国豊かな海づくり大会に参加をし、改めて、三重県にとっての海が、単なる自然資源にとどまらず、水産業や県民の暮らしにとって重要なものであるとの思いを強くしたところであります。タイムリーな提言になったと考えています。

この1年間、伝統ある三重県議会の議長を務めさせていただきましたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。今後は、一議員としてこの経験を生かし、一層県民の皆様の負託に応えるべく尽力してまいりたい所存です。

引き続き御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、退任の御挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。（拍手）

日程追加・議長の選挙

○副議長（森野真治） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、議長選挙の件を日程に追加し、直ちに議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議 場 閉 鎖〕

○副議長（森野真治） ただいまの出席議員数は47名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

1 番 市 野 修 平 議員

6 番 市 川 岳 人 議員

を指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（森野真治） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、1 番 市野修平議員、6 番 市川岳人議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○副議長（森野真治） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（森野真治） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投 票 箱 点 検〕

○副議長（森野真治） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に、1 番

市野修平議員から順次投票願います。

〔投票執行〕

○副議長（森野真治） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（森野真治） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○副議長（森野真治） これより開票を行います。

立会人の方、立会いをお願いします。

〔開票〕

○副議長（森野真治） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 47票

有効投票 44票

無効投票 3票

有効投票中

藤田宜三議員 32票

津田健児議員 11票

村林聡議員 1票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は11票であります。よって、藤田宜三議員が議長に
当選されました。

投票者氏名

1	番	市野修平
2	番	曾我正彦
3	番	荊原広樹
4	番	伊藤雅慶

5	番	世	古	明
6	番	市	川	岳 人
7	番	龍	神	啓 介
8	番	辻	内	裕 也
9	番	吉	田	紋 華
10	番	難	波	聖 子
11	番	芳	野	正 英
12	番	川	口	円
13	番	喜	田	健 児
14	番	中	瀬	信 之
16	番	中	瀬古	初 美
17	番	廣		耕太郎
18	番	松	浦	慶 子
19	番	石	垣	智 矢
20	番	山	崎	博
21	番	野	村	保 夫
22	番	倉	本	崇 弘
23	番	山	内	道 明
24	番	田	中	智 也
25	番	藤	根	正 典
26	番	森	野	真 治
27	番	杉	本	熊 野
28	番	藤	田	宜 三
29	番	田	中	祐 治
30	番	野	口	正
31	番	谷	川	孝 栄
32	番	石	田	成 生
33	番	村	林	聡

34	番	小	林	正	人
35	番	東		豊	
36	番	長	田	隆	尚
37	番	今	井	智	広
38	番	稲	垣	昭	義
39	番	日	沖	正	信
40	番	舟	橋	裕	幸
41	番	中	嶋	年	規
42	番	青	木	謙	順
43	番	中	森	博	文
44	番	山	本	教	和
45	番	西	場	信	行
46	番	中	川	正	美
47	番	服	部	富	男
48	番	津	田	健	児

○副議長（森野真治） 議長に当選されました藤田宜三議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

藤田宜三議長、挨拶をお願いします。

〔藤田宜三議長登壇〕

○議長（藤田宜三） 議長就任に当たりまして一言御挨拶申し上げます。

ただいまの議長選挙におきまして皆様方の温かい御支持をいただき、第116代三重県議会議長の職責を担うこととなりました。誠に身に余る光栄であり、御厚情に対しまして心より感謝を申し上げます。

この上は、議長の職責の重さを胸に刻み、三重県議会の基本条例の基本理念と基本方針に基づき議会改革を推進し、二代表制の下で誠心誠意、三重県政の推進と円滑な議会運営のために全力を尽くす覚悟でございます。

議員の皆様の御指導、御鞭撻並びに知事はじめ執行部の皆様の御協力を賜

りますようにお願いを申し上げまして就任の御挨拶とさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。（拍手）

○副議長（森野真治） 藤田宜三議長、議長席にお着き願います。

〔森野真治副議長退席・退場、藤田宜三議長議長席に着く〕

日程追加・副議長の辞職

○議長（藤田宜三） この際、申し上げます。

森野真治副議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りをいたします。森野真治副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認めます。よって、森野真治副議長の辞職を許可することに決定をいたしました。

〔26番 森野真治議員入場・着席〕

○議長（藤田宜三） 前副議長の森野真治議員の御挨拶があります。

〔26番 森野真治議員登壇〕

○26番（森野真治） 副議長を退任するに当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

昨年5月に皆様の御推挙により第119代副議長に就任いたしましてから1年が経過し、本日、職を辞することとなりました。

在任中、服部議長をはじめ議員の皆様方にお力添えをいただき、また、知事をはじめ執行部の皆様に御協力をいただきましたことに、まづもって心から厚く御礼を申し上げます。

この1年間、服部議長がその職責を円滑に果たせるよう、しっかり補佐するとともに、二元代表制の下、議長とも連携し、議会議論が活発かつ建設的に行われ、円滑な運営が実現されるよう、全力で職務に取り組みさせていただきました。議長におかれましては、私の意見も尊重して議会を運営していた

だき、感謝申し上げたいと存じます。

また、広聴広報会議の座長という立場で振り返ってみますと、議会の広聴広報機能のさらなる充実に向け、委員の皆様と共に様々な取組を進めてまいりました。

みえ県議会出前講座では、若者への主権者教育が課題となっている中、三重大学に加えて新たに鈴鹿大学でも実施するなど、小学校から大学までの幅広い世代を対象に、計14校と多くの学校で実施することができました。

本年8月に開催予定のみえ高校生県議会に向けた準備では、前回の参加者の感想や広聴広報会議からの申し送りを踏まえ、開催前の事前ミーティングを充実させるなど、参加生徒とのより活発な意見交換に向けた内容の見直しを行いました。

多様な県民の意見を県議会に取り入れるため実施しているみえ現場d e 県議会では、10月に四日市大学で開催した第1回は、初めて防災・減災をテーマにし、学生との意見交換を行ったほか、第2回は14年ぶりに離島の観光をテーマに2月に鳥羽市で開催し、地域の方々の生の声を聞くことができました。

そのほか、広報紙におきましても、今後の議会日程の記事を復活させるなど、より多くの県民の皆様に手に取っていただけるよう工夫を重ねてまいりました。

最後に、この1年間、三重県議会の副議長という重責を全うすることができましたのも、県民の皆様から応援いただき、議員の皆様の御助力、知事をはじめとする執行部や関係者の皆様の御協力のおかげであり、深く感謝しております。

今後は一議員として、この経験をしっかりと生かし、県政発展のため力を尽くしてまいる所存でございますので、一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、副議長退任の御挨拶とさせていただきます。

1年間、誠にありがとうございました。（拍手）

日程追加・副議長の選挙

○議長（藤田宜三） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、副議長選挙の件を日程に追加し、直ちに副議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議 場 閉 鎖〕

○議長（藤田宜三） ただいまの出席議員数は47名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

2番 曾 我 正 彦 議員

34番 小 林 正 人 議員

を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、2番 曾我正彦議員、34番 小林正人議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○議長（藤田宜三） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投 票 箱 点 検〕

○議長（藤田宜三） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に、1番 市野修平議員から順次投票を願います。

〔投 票 執 行〕

○議長（藤田宜三） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議 場 開 鎖〕

○議長（藤田宜三） これより開票を行います。

立会人の方、立会いを願います。

〔開 票〕

○議長（藤田宜三） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 47票

有効投票 35票

無効投票 12票

有効投票中

津 田 健 児 議員 33票

村 林 聡 議員 1 票

吉 田 紋 華 議員 1 票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は9票であります。よって、津田健児議員が副議長に当選されました。

投 票 者 氏 名

1	番	市 野 修 平
2	番	曾 我 正 彦
3	番	荊 原 広 樹
4	番	伊 藤 雅 慶
5	番	世 古 明
6	番	市 川 岳 人

7	番	龍	神	啓	介
8	番	辻	内	裕	也
9	番	吉	田	紋	華
10	番	難	波	聖	子
11	番	芳	野	正	英
12	番	川	口		円
13	番	喜	田	健	児
14	番	中	瀬	信	之
16	番	中	瀬	初	美
17	番	廣		耕	太郎
18	番	松	浦	慶	子
19	番	石	垣	智	矢
20	番	山	崎		博
21	番	野	村	保	夫
22	番	倉	本	崇	弘
23	番	山	内	道	明
24	番	田	中	智	也
25	番	藤	根	正	典
26	番	森	野	真	治
27	番	杉	本	熊	野
28	番	藤	田	宜	三
29	番	田	中	祐	治
30	番	野	口		正
31	番	谷	川	孝	栄
32	番	石	田	成	生
33	番	村	林		聡
34	番	小	林	正	人
35	番	東			豊

36	番	長	田	隆	尚
37	番	今	井	智	広
38	番	稲	垣	昭	義
39	番	日	沖	正	信
40	番	舟	橋	裕	幸
41	番	中	嶋	年	規
42	番	青	木	謙	順
43	番	中	森	博	文
44	番	山	本	教	和
45	番	西	場	信	行
46	番	中	川	正	美
47	番	服	部	富	男
48	番	津	田	健	児

○議長（藤田宜三） 副議長に当選されました津田健児議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

津田健児副議長、御挨拶を願います。

〔津田健児副議長登壇〕

○副議長（津田健児） 副議長就任に当たりまして御挨拶申し上げます。

ただいま、議員の皆様の御推挙により、第120代三重県議会副議長の要職を担わせていただくことになりました。職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

この上は、藤田議長をよく補佐し、円滑な議会運営と県政発展のため誠心誠意努めてまいる所存でございます。改めて議員の皆様の御高配に対し厚く御礼申し上げますとともに、1年間の御指導を賜りますことをお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

休

憩

○議長（藤田宜三） 暫時休憩いたします。

午前10時50分休憩

午前11時20分開議

開

議

○議長（藤田宜三） 休憩前に引き続き会議を開きます。

常 任 委 員 の 選 任

○議長（藤田宜三） 日程第1、常任委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の各常任委員名簿のとおりそれぞれ指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認めます。よって、それぞれの議長の指名のとおり決定いたしました。

常任委員名簿

会派	委員会名 (定数)	総務・地域連携・交通 (8名)	政策企画・雇用・経済・観光 (8名)	環境・生活・農林・水産 (8名)	医療・健康・子ども福祉・福祉 (8名)	防災・県土整備・企業 (8名)	教育・警察 (8名)
新政	みえ	4名 曾我正彦 中瀬信之 森野治 藤田宜三	3名 市野修平 川口円 廣耕太郎	3名 世古明 芳正 日野正 沖信	3名 喜田健児 藤根典正 舟橋裕幸	3名 荊原広樹 中瀬古美 稲垣昭義	3名 伊藤雅慶 田中智也 杉本熊野
自由民主党		2名 中嶋年規 青木謙順	3名 龍神啓介 野口正行 西場信行	3名 田祐治 谷川孝榮 山本教和	3名 市川岳人 石田成博 中森博文	3名 松浦慶子 村林聡 中川正美	2名 石垣智矢 山崎博
自民党県議団		1名 野村保夫		1名 小林正人	1名 服部富男	1名 辻内裕也	1名 津田健児
草莽				1名 倉本崇弘	1名 東豊	1名 長田隆尚	
公明党		1名 今井智広					1名 山内道明
日本共産党			1名 吉田紋華				
参政党							1名 難波聖子

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	予算決算			
		(47名) (次員1)			
新	政 委 員 名 簿	18名			
		市野修平	我芳中	正正初	彦英美治幸
自	由 民 主 党	世古瀬	明信之典	野古瀬	原口耕太郎
		藤根正	正正信	野古瀬	伊喜田稲垣
自	民 党 議 団	16名			
		市川岳人	龍神中	松浦慶子	石垣川木
草	公 明 党	山崎田森	成博文	野中聡和	谷青中
		辻内裕也	健兒	小林正人	服部富男
公	日 本 共 産 党	5名			
		倉本崇弘	東 豊	長田隆尚	
参	参 政 党	3名			
		山内道明	今井智広		
		2名			
		吉田紋華			
		1名			
		難波聖子			
		1名			

議 会 運 営 委 員 の 選 任

○議長（藤田宜三） 日程第2、議会運営委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会の委員の選任につきましては、委員会
条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の議会運営委員名
簿のとおり指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定
いたしました。

議 会 運 営 委 員 名 簿

会派	委員会名 (定数)	議 会 運 営 (9名)
新 政 民 主 党	え	4名
		田 中 智 也 藤 根 正 典 杉 本 熊 野 稲 垣 昭 義
		3名
		野 口 正 石 田 成 生 村 林 聡
自 民 党 県 議 団		1名 小 林 正 人
草 莽		1名 東 豊
公 明 党		
日 本 共 産 党		
参 政 党		

休

憩

○議長（藤田宜三） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前11時21分休憩

午前11時22分開議

開

議

○副議長（津田健児） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・常任委員の辞任

○副議長（津田健児） この際、申し上げます。

藤田宜三議員から総務地域連携交通常任委員の辞任願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、常任委員辞任の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りします。委員会条例第10条第1項の規定により、藤田宜三議員の総務地域連携交通常任委員会の委員の辞任を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（津田健児） 御異議なしと認めます。よって、藤田宜三議員の総務地域連携交通常任委員の辞任を許可することに決定いたしました。

この際、申し上げます。

ただいま選任されました各常任委員会及び議会運営委員会の委員の方々は、それぞれの委員会において委員長及び副委員長の互選の上、御報告を願います。

休

憩

○副議長（津田健児） 常任委員会及び議会運営委員会の委員長及び副委員長の互選のため、暫時休憩いたします。

午前11時23分休憩

午後 1 時15分開議

開 議

○議長（藤田宜三） 休憩前に引き続き会議を開きます。

諸 報 告

○議長（藤田宜三） この際、報告いたします。

各常任委員会及び議会運営委員会において、それぞれ委員長及び副委員長を、お手元に配付の委員長及び副委員長名簿のとおり互選した旨の報告がありました。

次に、議案第78号が提出されましたので、お手元に配付をいたしました。

以上で報告を終わります。

委員長及び副委員長名簿
（各常任委員会、議会運営委員会）

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長
総務地域連携交通常任委員会	野村 保夫	曾我 正彦
政策企画雇用経済観光常任委員会	龍神 啓介	市野 修平
環境生活農林水産常任委員会	世古 明	田中 祐治
医療保健子ども福祉病院常任委員会	市川 岳人	喜田 健児
防災県土整備企業常任委員会	荊原 広樹	松浦 慶子
教育警察常任委員会	伊藤 雅慶	難波 聖子
予算決算常任委員会	田中 智也	石垣 智矢
議会運営委員会	藤根 正典	野口 正

提 出 議 案 件 名

議案第78号 監査委員の選任につき同意を得るについて

四日市港管理組合議会議員の選挙

○議長（藤田宜三） 日程第3、四日市港管理組合議会議員の選挙を行います。

なお、選挙すべき議員の数は3名であります。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条の規定により指名推選とし、指名の方法は、議長において指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認め、ただいまから指名いたします。

曾 我 正 彦 議員

山 崎 博 議員

野 口 正 議員

以上の方を指名いたします。

ただいま指名いたしました3名の方を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました3名の方が四日市港管理組合議会議員に当選されました。

当選されました方が議場におられますので、当選の通知をいたします。

監 査 委 員 の 選 任

〔14番 中瀬信之議員、22番 倉本崇弘議員離席・退場〕

○議長（藤田宜三） 日程第4、議案第78号を議題といたします。

お諮りいたします。本件は人事案件につき、提案説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

採

決

○議長（藤田宜三） これより採決に入ります。

議案第78号を押しボタン式投票により採決いたします。

本案に同意することについて投票願います。

〔投票開始〕

○議長（藤田宜三） 投票漏れはございませんか。

押し間違いはございませんか。

間もなく投票を終了いたします。

これにて投票を終了いたします。

〔投票終了〕

○議長（藤田宜三） 投票の結果を報告いたします。

賛成 44

反対 0

よって、本案は同意することに決定いたしました。

〔14番 中瀬信之議員、22番 倉本崇弘議員入場・着席〕

議 員 派 遣 の 件

○議長（藤田宜三） 日程第5、議員派遣の件を議題といたします。

討

論

○議長（藤田宜三） 討論の通告がありますので、発言を許します。9番 吉田紋華議員。

〔9番 吉田紋華議員登壇〕

○9番（吉田紋華） 津市選挙区選出、日本共産党の吉田紋華です。

リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会への議員派遣について、反対討

論をいたします。

今、リニア中央新幹線の建設に当たっては、各地で様々な問題が出てきています。

まず一つ目には、水がれ、地盤沈下など、ＪＲ東海も認める問題が起き、住民の皆さんに多大な損害を与えています。

東京都内では、町田市において水と気泡の噴出、品川区においては道路の隆起などのトラブルが発生、また、岐阜県では、リニアの日吉トンネル掘削工事によって瑞浪市大湫町で水がれと地盤沈下が起きています。

ＪＲ東海によるリニア中央新幹線東京―名古屋間の建設工事の影響を懸念する住民らが原告となり、工事実施計画の認可を取り消すよう国に求めている、ストップ・リニア！訴訟、その原告側弁護士は意見陳述で、ＪＲ東海の不十分な環境影響評価と準備不足が原因だとし、環境負荷に配慮のない開発優先の態度だと批判をしています。

次に、二つ目には工事の進捗の問題があります。

各地で、特にトンネル工事がストップして、大幅な工事の遅延が見受けられています。特に大深度法に基づく区間や南アルプスを通る区間の問題は、環境の影響や工事自体に対して識者から多くの疑念が持たれています。また、静岡県問題も解決には至っていません。

開通に関して、リニア中央新幹線は当初2027年の開業を予定していました。しかし、ＪＲ東海は総工費が、当初見込みの約２倍、11兆円にも膨らむ見通しを明らかにした上で、開業時期を便宜上2035年と仮置きすると、事実上、開業の時期さえ示せない事態になっています。

ＪＣＪ、日本ジャーナリスト会議賞を受賞した樫田秀樹さんの著書『最新報告 混沌のリニア中央新幹線』では、各種の工事の遅れに加え、リニア本線のトンネル工事、実験線を除く209キロの区間に限って、その工事進捗率を計算してみたところ、進捗率は僅かに約19%にすぎないと算出をしています。それを根拠にすると、樫田氏は、リニアの開通時期は2070年代から80年代になりかねないとも述べております。20代の私でさえ生きているかどうか

分かりません。

さらに、リニア工事のうち86%がトンネル工事となるため、東京ドーム約46杯分にもなると言われる大量の残土問題にも言及をされています。

残土には自然由来の重金属を含有するために、周辺環境の汚染や健康被害を引き起こす可能性の高い要対策土の発生も予想されていると、その本では警鐘を鳴らされています。

また、リニア災害とも呼ばれる地震や自然災害に対しての防災対策に関して、三重県はほとんど視野に入っていない様子であり、これを私が議会で懸念を示しますと、その点、J Rに伝えますという答弁ばかりが返ってきます。これでは、リニアの利用者や地元住民の命や暮らしを守るという責任感や危機感が感じられません。

さらに、最近では、亀山市、三重県駅が予定されている地域であります、その令和8年度当初予算において、これまで毎年続けられてきたリニア基金の積立てが、今年度中止をされました。亀山市は、リニアの整備動向や財政状況を理由に挙げています。

私は、この状況が、見通しの立っていないリニアよりも、暮らしの支援のために税金を使うべきという意識の表れだと考えています。亀山市議会の中からも、既に積み立てられた20億円の基金を廃止して、公共施設の整備や市民の暮らしのために使うよう求める声が上がっています。三重県の美しい自然環境や三重県の住民が暮らす環境を守るためにも、この問題を直視すべきです。

三つ目の問題です。

2026年2月4日、第3回みえリニア戦略プラン（仮称）検討委員会が開かれ、その最終報告案が出されました。

その中身を見ると、まず、パブリックコメントの状況がどう反映されたのか、報告がされていない状況です。

また、その会議で示された最終報告案においては、震度7の地震想定エリア問題が加えて示されていたり、三重県駅モデルが示されていることなど、

パブリックコメントの募集時に提示されたものから変更点があるということです。

問題は、そのことが、県議会の３月の担当常任委員会の所管事項で説明が全く行われていないということ、さらに、その審議を延長するため、みえリニア戦略プラン（仮称）、その最終報告案を議会に提示するのも遅らせるということです。また、今月の新年度初めての常任委員会での説明の予定もないということです。

当初は、この３月で、みえリニア戦略プラン（仮称）、その確定をし、広く配付するための冊子を作る予定でもありました。

このように、意見を寄せた県民へのフィードバックはおろか、議会にすら説明をしていないという点では、県民の声や議会の軽視と言わざるを得ません。県民からの声をどう受け止めたのか、三重県はきちんと表明するべきではないでしょうか。

修正するならするで、そのプロセスを透明化するべきではないでしょうか。透明性を担保した県政の施策づくりこそが県民との信頼関係において大事なのではないかと考えています。

県民の暮らしを脅かす大きなリスクを隠しながら、予算も膨らみ、開通時期の見込みもできなくなっている。加えて、三重県もそれに対しての姿勢を不透明にしている。今まで述べました三つの点が課題としてあるのが、三重県のリニア中央新幹線建設の現状です。

そのような事業の推進のために、県民代表として県議会議員を派遣することは認められません。

このような理由から、本県の議員派遣については反対をします。

また、もしこの議案が可決した際には、派遣されることになる議員におかれましては、リニア中央新幹線の建設に関して前向きな面ばかりではなく現実的な面を、建設促進期成同盟会の総会において見ていただき、将来の三重県のために還元していただけることをお願いしたいです。

しかしながら、改めて公費のかかる派遣であることを指摘申し上げて、以

上でこの議員派遣の件には反対の討論といたします。

○議長（藤田宜三） 以上で討論を終結いたします。

採 決

○議長（藤田宜三） これより採決に入ります。

本件を押しボタン式投票により採決いたします。

本件をお手元に配付の一覧表のとおり派遣することについて、投票を願います。

〔投票開始〕

○議長（藤田宜三） 投票漏れはございませんか。

押し間違いはございませんか。

間もなく投票を終了いたします。

これにて投票を終了いたします。

〔投票終了〕

○議長（藤田宜三） 投票の結果を報告いたします。

賛成 45

反対 1

よって、本件は、お手元の配付の一覧表のとおり派遣することに決定いたしました。

議 員 派 遣 一 覧 表

1 リニア中央新幹線 建設促進期成同盟会 総会

(1) 派遣目的

リニア中央新幹線の早期建設の実現を強力に推進するために沿線10都府県の期成同盟会等で組織する「リニア中央新幹線 建設促進期成同盟会」が、令和8年度事業計画及び収支予算並びに国、関係機関等への要望活動を決定する「令和8年度総会」に出席する。

(2) 派遣場所

東京都

(3) 派遣期間

令和8年5月27日 1日間

(4) 派遣議員

曾我 正彦 議員	荊原 広樹 議員
伊藤 雅慶 議員	芳野 正英 議員
倉本 崇弘 議員	長田 隆尚 議員

○議長（藤田宜三） これをもって本日の日程は終了をいたしました。

休 会

○議長（藤田宜三） お諮りいたします。明20日から6月2日までは委員会の所管事項調査等のため休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤田宜三） 御異議なしと認め、明20日から6月2日まで委員会の所管事項調査のため休会とすることに決定いたしました。

6月3日は定刻より本会議を開きます。

散 会

○議長（藤田宜三） 本日はこれをもって散会いたします。

午後1時29分散会